

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、主要指標（就職件数・充足件数・雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成のためには、前提となる紹介件数を増加させる取組及び就職率増加のための取組を特に重点的に進めることとし、職種別担当者制を実施しました。全職種の求人を9つに分類のうえ、職業相談部門の職員が1分類ずつ担当し、前週に受理した求人を1週間かけてマッチング・情報提供することにより職業紹介への呼び水となり、その結果、紹介率は101.8%となり目標値の92.4%を大きく上回りました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

コロナ禍において、庁舎外における研修・勉強会や外部講師を招いての研修・勉強会が困難であったことから、内部での実務的な研修に注力しました。担当業務に関わらず、業務に直結する助成金制度や雇用保険制度について、研修を行いました。また、オンライン化に伴い、求職者マイページを活用した求人情報提供の操作等、求職者マイページに係る研修を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

従来は、嶺北地方のみで行われていた障害者の面接会を嶺南地方で初めて開催しました。同じく初めて開催した「障害者雇用事業主セミナー」と同日開催とし、地方公共団体を含めた障害者雇用率未達成事業所等に参加を打診した結果、8社が参加しました。また、新型コロナウイルス感染症の感染を防止する為、完全予約制のうえ、感染防止対策に十分留意し開催しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

フルタイム求人は、前年度と比較し微減でしたが、パートタイム求人は大幅に減少しました。一方、求職者の高年齢化が進んでおり、パートタイム求人の確保が急務であることから、事業所訪問等による求人開拓等の取組を積極的に行っていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染症の影響により、面接会や企業説明会等のイベントの開催が中止となり、また、求職者に対して来所を勧奨する事も出来なかったことから、能動的な求職者支援が困難でした。また、事業所訪問も制限がある中で、求人開拓や職員の職場見学等の能動的な求人者支援も困難でした。コロナ禍においては、来所を伴わずハローワークのサービスを利用する事が出来る求職者・求人者マイページの活用が重要であることから、今後は、求職者・求人者マイページの周知説明及び開設勧奨に積極的に取り組みます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついた就職氷河 期世代の不安定就労 者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数		
実績	1,265	1,148	351	101.8%	51	4,317	515		
目標	1,437	1,295	320	92.4%	50	4,116	530		
目標達成率	88.0%	88.6%	109.7%	110.2%	102.0%	104.9%	97.2%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率